

掲載日：令和6年07月18日

担い手確保等の環境整備へ 九州建専連が定期総会

建設産業専門団体九州地区連合会（杉山秀彦会長）は16日、令和6年度の定期総会＝写真＝を福岡市の八仙閣で開催した。6年度事業計画では、建設業における働き方改革の実施状況などを踏まえて、新たな年度に向けて各種の取り組みを進めていくことなどを確認した。

開会に当たり、杉山会長があいさつ。専門工事業については、建設業界においてなくてはならない存在であること、そのためには担い手を確保・育成していく環境整備が必要であることなどを強調。さらには建専連の活動について「地道な取り組みを積み重ねることこそ、目標の達成が図られると信じている。本日の総会を契機に、改めて皆さんと持続可能な建設業の確立を目指していきたい」とした。

議案審議では、令和5年度の事業報告および決算報告、6年度の事業計画案および収支予算案等について、原案通り承認。6年度事業計画に係る基本方針では、働き方改革等を踏まえた各種の取り組みを進めていくことや、建設業で働く関係者の安心で安全な生活を守るため、さまざまな環境を改善する改正建設業法や関連法が確実に施行されるよう注視していくことなどを確認。

具体的な実施事業には▽九州地方整備局との意見交換会や業種別意見交換会▽九州各県との意見交換会▽経営革新支援研修会▽出前事業▽外国人技能実習生等を対象とする技能研修の紹介―等を掲げた。

総会後には、ジョーンズラングラサル福岡支社の山崎健二支社長が講師を務め、講演会が開かれ、九州の都心部における開発動向などについての解説がなされた。



すべての著作権は株式会社九建日報社に帰属します。

All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.